

鹿児島県医師連盟 FAX ニュース

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報をこれから随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL: 099-213-1011 FAX: 099-213-1012

衆院選、自民の前職、新人5候補を推薦 鹿児島県医師連盟

衆議院の解散、総選挙は12月2日公示され、14日の投票に向けて、12日間の選挙戦が始まった。今回の選挙は「アベノミクス」の経済政策の評価を国民に問うのが大きな争点でこのほか、「原発再稼働」「集団的自衛権の行使容認」「米軍普天間基地移設」などでも、与野党の論戦が展開される。

鹿児島県内は5選挙区で、14人が立候補を届け出た。14人は小選挙区比例代表並立制が導入された1996年以降で最少。比例九州ブロックには、自民の1区を除く4人と民主、維新、社民各1人が重複立候補した。単独では自民が前職の湯川一行氏(65)を擁立した。

鹿児島県医師連盟(池田琢哉委員長、約800人)は11月27日開いた執行委員会で、鹿児島県内5選挙区の候補者推薦などについて、協議した結果、各選挙区の自民党公認候補を推薦することを決めた。推薦にあたっては、医療政策に関する鹿児島県医師連盟との政策協定を結ぶことが前提で、いずれの候補者も協定の締結に応じた。

政策実現のため、政権与党を支持 池田琢哉医師連盟委員長

池田委員長は今回の解散、総選挙について「社会保障費に充てるための消費増税の先送りで、医療界は厳しくなるが、我々はもっと政治に目を向け、自分たちの政策の実現を図らねばならない。そのためにも、衆院選では政権与党を支持して、自民党公認候補全員の当選に向けてがんばりたい。郡市の医師連盟の皆様には、それぞれの選挙区の候補者を全力で応援していただきたい」と述べた。

(文責・事務局)

各選挙区の推薦候補は次の通り。

【鹿児島1区】	保岡 興治	(75)	自民前	当選12回
【鹿児島2区】	金子 万寿夫	(67)	自民前	当選 1回
【鹿児島3区】	宮路 拓馬	(35)	自民新	
【鹿児島4区】	小里 泰弘	(56)	自民前	当選 3回
【鹿児島5区】	森山 裕	(69)	自民前	当選 4回